

競 技 注 意 事 項

1. 競 技 方 法 2008年(財)日本陸上競技連盟競技規則による。
2. ナンバーカード 個人ナンバーカード(男女赤字)を胸背部につける。ただし、走高跳は胸背いずれか
よい。トラック競技に出場する選手腰ナンバーカード(大会本部で用意する)を右腰後
方に付ける。
3. 招 集 招集所は、スタート地点・競技場所の現地招集とする。
競技者は招集時刻の10分前までに現地に集合し、点呼を受ける。
トラック競技は競技時刻の20分前、フィールド競技は30分前を招集時刻とする。
代理人は認めない。(群馬県内選手に限る)
招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
4. 練 習 場 ウォームアップ場は、補助競技場とする。
5. 使 用 器 具 器具は本部で用意したものを使用すること。
6. トラック競技 タイムレースとして決勝は行わない。同組、別組とも同記録は同順位とする。
7. フィールド競技 走幅跳、砲丸投は3回試技とし、トップ8は行わない。
8. バーの上げ方 男子走高跳 130 135 140 145 150 155 160 165 170 以後5cm
女子走高跳 115 120 125 130 135 140 145 150 以後3cm
当日変更することがある
9. ス パ イ ク トラック種目・走幅跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。
10. そ の 他 当日審判員のいない学校は、選手の出場を停止する。
当日の選手の変更は一切認めない。
更衣は更衣室で行い、更衣室は常に清潔に努め、ロッカー等には貴重品・衣類等は置
かない。
空き缶・ゴミ等は各校・各自で責任をもって処理する。
「テント」はスタンドの中段より上に設営すること。「のぼり」はスタンドの最上段
の手すりのみ設置可。(敷島会場はメインスタンドのみ可)
メインスタンドでの集団応援は禁止します。
中学生は携帯電話を競技技場内では原則として使用しないこと。